インドネシア法人

President Director
湯通堂　和久

ごあいさつ

インドネシア法人は、2012年に設立したトーメンエレクトロニクスのジャカルタ営業事務所と1990年に設立した豊田通商インドネシアのエレクトロニクス部門との初めての合弁拠点として、2013年に設立しました。
本社統合後、インドネシアも社名変更を試みましたが、当地の複雑な法制により設立当初の「PT. TOYOTA TSUSHO TOMEN ELECTRONICS INDONESIA」を正式名称として維持し、通称「ネクスティ エレクトロニクス インドネシア」としております。
2018年1月現在、26名のスタッフと共にインドネシアに進出されている日系企業を中心に半導体・電子部品のキッティング事業、EMS事業、完成品販売事業を展開しており、「エレクトロクスでインドネシアを楽しくする」ことをモットーに日々活動をしております。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

基本情報

社　　名：PT.TOYOTA TSUSHO TOMEN ELECTRONICS INDONESIA
住　　所：Mid Plaza 2 Building Lantai 12th Floor. Jl. Jend. Sudirman kav. 10-11 Jakarta 10220, Indonesia
連 絡 先：TEL: 62-21-5790-7035
FAX: 62-21-5785-3046
資 本 金：USドル　2,500,000
設　　立：2013年2月
従業員数：26人（2018年3月）

特長・強み

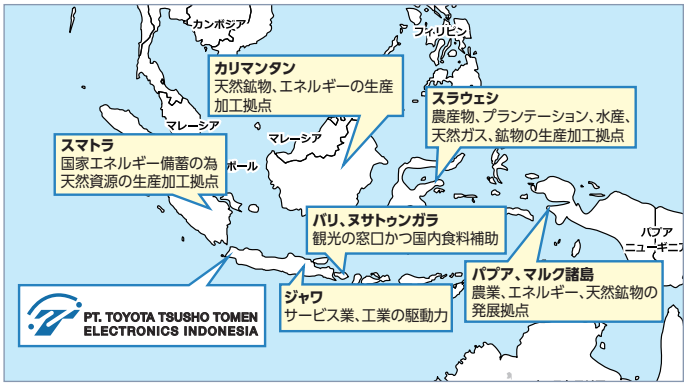
インドネシア法人はジャカルタオフィスを本社として、ブカシ県MM2100工業団地にあるTOYOTA TSUSHO LOGISTIC CENTER PT内に電子部品専用の保税及び国内倉庫を構えており、東に延びる工業団地群に点在するお客様をサポートしています。

【特長】

- エレクトロニクス製品であれば何でも輸入販売できるライセンスとノウハウ
- 20年以上歴史ある豊通インドネシアグループのネットワークによる情報網や物流網の活用
- 顧客の近くに構えた電子部品倉庫と帯電防止素材の通い箱梱包や1リールから提供できるジャストインタイム納入
- ネクスティ エレクトロニクス シンガポール法人のFAE部隊を活用し、現地顧客へのデザインイン活動
- パートナーEMS会社との協業による部品実装機能の提供
- 近年インドネシアでもニーズが拡大しつつあるIoT分野に対し、ネクスティ エレクトロニクス本社のサポートによる技術・機器・システムの提供や現地電波法の認証取得
- バリューチェーン上の各機能を常に強化・改善し、インドネシアのエレクトロニクス産業の発展に貢献

地域的特長

インドネシア共和国は、人口2.6億人（世界第4位）、国土は190万km²（日本の5倍）、経済成長率5%、人口ボーナス期も2030年まで続くと言われており、豊富な労働人口を基に継続的な経済成長が見込まれています。進出日系企業は1500社を超え、車載分野では日系が圧倒的です。年間約100万台販売されている4輪は90%以上、年間約600万台の2輪では99%のシェアを占めており、年々輸出も増えています。そうした製造業の中心となっているジャカルタ内及び近郊の工業団地群を繋ぐ道路インフラが未整備であるため、世界的にも有名な大渋滞と経済損失を引き起こしている訳ですが、現在急ピッチで随所でインフラ整備の工事が行われていますので、数年以内に更なる発展を生む基盤が整うことと思います。



お勧め情報

色々お勧めはありますが、何といってもスケールの大きい自然や、目を奪われる程の海がいっぱいです。世界遺産も多く、そうでなくとも青い炎のイジェン火山など見所満載です。
【世界文化遺産】 ボロブドゥール寺院遺跡群、プランバナン寺院群、バリの水利システム「スバック」に基づいた文化的景観など
【世界自然遺産】 ウジュンクロン国立公園、コモド国立公園、スマトラの熱帯雨林など

ロンボク島の海

ロンボク島の伝統武闘

世界トップクラスのマングローブ保有国

目次ページへ
ネクスティ エレクトロニクス ホームページへ